

「選ばれるまち」とは？ 市政や教育課題など議論

根室市議会2月定例会議会 代表質問が9日と10日、一般質問は10日に

2月27日、根室市議会2月定例会議会が開会。「市政方針」・「教育行政方針」の報告と補正予算案が審議されました。9日・10日には代表質問と一般質問が行われ、新年度からの市の福祉や子育て支援、地域産業、領土問題、教育など各分野にわたる市政課題が議論されます。

今回可決された補正予算案のうち内容の一部を紹介します。

○歯舞診療所への負担金を増額。公設民営の診療所ですが、コロナ禍で患者数が低迷し、市の財政負担を増額しました。過去には医師不在のため長期休診となったこともあり、歯舞地域にとって重要な診療所です。

○酪農・農業生産者への独自支援。飼料などの高騰で大きな打撃を受けている農業者への支援です。牛1頭当たり1400円を助成します。12月定例会に農協から提出された請願に市側が対応したものです。

○高齢者運転免許更新時特別講習等の受講者が増加。今年度から市独自の特別講習を追加で実施しています。また、それとは別に任意の「認知症検査」も随時行っており、当初予定より多くの方が検査を受けたそうです。

電気代や物価高騰が続く中、生活困窮者に対する相談支援の強化を

橋本は電気代や灯油、食料品等をはじめとする物価高騰への市の対策について質疑しました。今年度、根室市はすでに福祉灯油や水道料金の基本料金の減免などを行っていますが、今もなお多くの市民と市内事業者に大変な影響が生じています。

市は今後の物価高騰への支援策は「国や道の支援策に合わせ、実施することにより効果的になる」として、「国等の経済対策の動向をとらえ、時期を逸することなく機動的・効果的な対策を講じる」と説明していました。

地域の実情を踏まえた独自対策を検討すること、特に社協で実施する生活困窮者への相談支援窓口の周知と、相談事例に対して市役所各課も連携して支援すること等、取り組みをさらに強化するよう求めました。



代表質問の項目

【鈴木 一彦】3月9日
1. 非核平和都市宣言にふさわしい事業の実施について
2. 新型コロナウイルス感染症が「2類」から「5類」へ移行することに伴う影響と対応について
(1)市民生活への影響と対応について
(2)市立根室病院への影響と対応について
3. 「女性支援法」に基づく支援基盤の整備について
4. 価格高騰下での主に低所得者層への支援について
5. 「北方領土問題」に係る内政措置の充実・強化について
6. 花咲港小学校のあり方について

一般質問の項目

【橋本 竜一】3月10日
1. (仮称)立地適正化計画について
(1)計画策定の目的や効果について
(2)策定のスケジュールと市民意見の反映について
2. 子どもの貧困対策について
(1)子どもの生活実態調査について
(2)ひとり親家庭等への医療費の助成について
3. 保健予防活動について
(1)国民健康保険の被保険者等をはじめ若年者への健康診断の実施について

共にしあわせ産みだす党 日本共産党 市議団ニュース

第2052号 2023年03月05日

日本共産党 根室市議団

根室市宝林町4-203 TEL0153-23-6023